

佐賀総文！

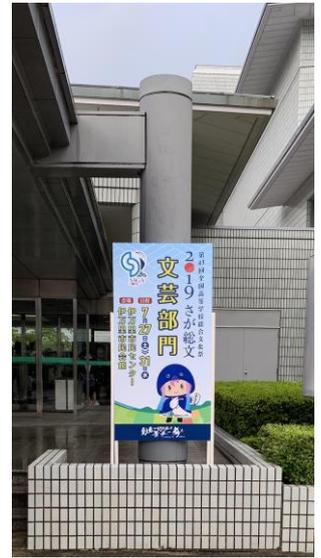
今年の全国高等学校総合文化祭は、佐賀で開催されました。本校からは、204Hの山本優奈さんが、石川県代表として文芸部門に参加しました。

7月29日（月）

初日は開会式が行われた後、文学研修に行きました。まず向かったのは唐津にある「鏡山」です。ここには、数多くの句碑・歌碑が建てられています。それらを巡りながら、最後には、玄界灘を一望できる展望台に行くはずだったのですが、途中でいきなり激しい雨に降られてしまい、やむなく断念。雄大な景色を眺めることはできませんでした。

次に向かったのは「曳山展示場」です。ここには「唐津くんち」で使われる「曳山」が14台保管されていました。

最後は、「名護屋城博物館」と「名護屋城址」です。「名護屋城」は、豊臣秀吉が、朝鮮出兵のために築いた城です。博物館には、秀吉の「陣羽織」や「名護屋古城模型」など、当時を偲ばせる多くの資料が展示されていました。



7月30日（火）

1 全体交流会

2日目は、まず全体交流会です。小グループに分かれて、短歌を作ったり、「佐賀PRクイズ」に挑戦したりしました。

2 部門別分科会

全体交流会の後は、部誌・散文・詩・短歌・俳句の5部門に分かれて研修会を行いました。本校の山本さんは、短歌部門に参加しました。短歌部門では、次の内容を行いました。

- ①課題作品の合評会
- ②「佐賀」をテーマに詠んだ短歌の合評会
- ③自由題作品の投票

今年の課題は「さわやかさを色であらわす」です。38首すべての作品に対して、生徒たちが意見を述べた後、講師の先生が優秀作品3首を発表しました。多くの作品が高校生活の中のワンシーンを切り取って詠んでいる中、山本さんの作品は父親の姿を詠んでいて、その独自の視線が評価されたのか、「講師特別賞」をいただくことができました。

汗ぬぐうタケノコ掘りの父の背を青吹きぬける葉擦れ涼しき

2日間という短い期間でしたが、全国の高校生との交流を通して、新たな切り口を学ぶことができました。

(8月5日 顧問)

北信越文芸道場、今年は石川開催です！

今年度の北信越文芸道場は、石川県で開催されます。開催に先立ち、第1回生徒実行委員会が開かれました。各校の代表生徒が集まり、おおまかな仕事分担を確認しました。その結果、本校文芸部の新部長 三浦友菜さんが、生徒実行委員長を務めることになりました。開催まであと3か月。みんなで協力して、他県の生徒さんを「おもてなし」する準備をすすめていきたいと思います。

(6月3日 顧問)

第39回 創作研修会

5月31日(金) 創作研修会が開催され、本校からは3年1名、2年3名が参加しました。

午前中の全体研修会では、金沢学院大学の水洞幸夫教授の「小説の視点を考える」という講演を聞きました。「1人称視点では、主人公の心理をことこまかく描けるが、だからこそ、何を書いて、何を書かないかで、小説が変わってくる。」というお話で、生徒たちは皆自分の作品に生かそうと、熱心に聞いていました。

午後からは部門別研修会です。「散文」と「詩」に分かれ、昨年度の「県文芸作品コンクール」の入賞作を読み、内容や表現について意見を交換しました。最初はぎこちない様子でしたが、時間が経つにつれ話に熱が入り、最後には大いに盛り上がり終ることができました。

(6月3日 顧問)

全国総文壮行式

5月30日(木) 石川県文教会館で、「第39回石川県高等学校総合文化祭総合開会式 兼 第43回全国高等学校総合文化祭壮行式」が行われました。本校からも多数の生徒が参加しました。文芸部の山本優奈さんも、その一人です。山本さんは、全国高等学校総合文化祭文芸部門の短歌部門に参加します。石川県代表として、佐賀県での積極的な活動を期待したいと思います。

(6月3日 顧問)

部結成……

4月17日(水) 部結成が行われました。しかし残念ながら、文芸部に新生は入りませんでした。現在3年1名、2年4名と、少々寂しい人数となってしまいました。途中入部、兼部も大歓迎です。小説を読むのが好きな人、創作に興味がある人、是非、見学にきてください。水曜、木曜の2日間、情報室で活動しています。

(6月3日 顧問)

第49回オレンジ・コンサート

3月20日（水）「オレンジコンサート」が開催され、文芸部も作品を展示しました。

今年のテーマは、「Once Upon a Time」です。「オレンジ」を作品の中に取り入れて、昔話風の物語にチャレンジしました。



（3月20日 顧問）

「二水文藝」ができました！

「二水文藝」が完成しました。今年で53号です。ありがたいことに、今年は様々なコンクールで多くの賞をいただきました。「二水文藝」は、その受賞作を中心にまとめた文芸部誌です。どれも読みごたえのある作品になっています。ぜひお手にとって、ゆっくり、じっくり読んでください。



（3月20日 顧問）

第13回あすなろ青春文学賞

3月3日（日）「第13回あすなろ青春文学賞」の授賞式が金沢文芸館で行われました。本校文芸部からは3名の生徒が受賞しました。

短編小説部門	奨励賞	204H	山口紗衣香	「想いの雫」
同上		102H	福岡 希	「La Chaleur」
同上		105H	三浦 友菜	「二年越しの結末」

今年度は、昨年度よりも多くの賞をいただくことができました。来年度も、今年に劣らぬ成績を残せるよう部員一同頑張っていきたいと思います。

（3月4日 顧問）

「からたち賞」受賞

2月28日（木）「からたち賞」の授賞式がありました。今年は5人の生徒が受賞しましたが、その中のひとりが文芸部の北本悠乃さんでした。受賞理由は、「入学以来真摯に創作活動に励み、第33回全国高等学校文芸コンクール小説部門において優良賞を受賞し、優秀な成績を収め、部活動の発展に貢献したこと」です。本人も、3年間の部活動がこのように認められ、今後の創作活動の励みになると喜んでいました。

（3月4日 顧問）

第1回超然文学賞

12月15日（土）「第1回超然文学賞」の授賞式が金沢東急ホテルで行われました。この賞は、今年金沢大学が設立した文学賞で、全国の高校生の中から「新しい世界を拓く『言葉の若き探求者』を見つける」ことを目的としています。この文学賞の小説部門で、本校文芸部の北本さんの作品が優秀賞に選ばれました。

北本さんの作品は、主人公の心の揺れを豊かな言葉で表現しており、今年数々のコンクールで入賞を果たしてきました。大学進学後も、ぜひ創作活動を続け、すばらしい作品を生み出してほしいと思います。

小説部門	優秀賞	305H	北本悠乃	題名「グッドバイ、セイショウネン」
------	-----	------	------	-------------------

（12月28日 顧問）

全国文芸コンクール入賞しました！

12月8日（土）「全国高等学校文芸コンクール」の入賞作品が発表され、本校生徒の作品が入賞しました。

小説部門 優良賞 305H 北本悠乃 題名『K』

小説部門には、全国から1512点もの作品が応募されたそうです。その中から最優秀賞が1点、優秀賞が4点、優良賞が8点選ばれました。つまり、1512作品の中のトップ13に選ばれたということで、本人も非常に喜んでいました。

作品は、3月に発行する「二水文藝」53号に掲載しますので、ぜひお読みください。

(12月28日 顧問)

「文字カフェ」10号 発行！

文芸部誌「文字カフェ」がようやく完成しました。ついに第10号です。10年間発行し続けることができたのは、生徒の作品を心待ちにしてくれた読者の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。今年のテーマは「bon Voyage (よい航海を!)」です。つたない文章ばかりですが、何度も何度も書き直してブラッシュアップしてきた作品です。図書室においてありますので、ぜひ読んでみてください。



(11月16日 顧問)

「県文芸作品コンクール」結果発表！

石川県文芸作品コンクールの審査結果が発表されました。このコンクールは、県内の高校生が対象のコンクールで、散文・詩・短歌・俳句の4部門があります。本校文芸部は、次のような結果でした。

散文部門	優秀賞	3年	北本悠乃「K」
	佳作	1年	福岡 希「声」
短歌部門	優秀賞	1年	山本優奈
詩部門	優良賞	3年	北本悠乃「ノスタルジックな無意味」
	優良賞	1年	西 彩華「終末の地球」
	優良賞	1年	三浦友菜「冷ややかな朝」

以上6作品が入賞できました。散文部門の北本さん、短歌部門の山本さんの優秀賞は、それぞれの部門の1位に相当します。入賞した皆さん、おめでとうございます。

(10月24日 顧問)

「白山ふるさと文学賞」結果発表！

白山市が主催している文学賞に、本校生徒が入賞しました。この文学賞は、白山市に居住または通学する高校生・中学生を対象として行っているものです。

白山ふるさと文学賞 第7回白山市ジュニア文芸賞 島清部門 中高生小説の部

最優秀賞 1年 西 彩華「終焉の淵で何思ふ」

(10月24日 顧問)

「文芸道場」に参加してきました

9月8日(土)、9日(日)「北信越高校生文芸道場」が新潟県で行われました。本校からは6名の生徒が参加し、次のような活動をしてきました。

8日(土)

① 文学研修(文学散歩)

弥彦神社周辺を散策してきました。すばらしい木立に圧倒されました。

② 講演

新潟県出身の俳人織田亮太郎さんによる「高校生のための俳句と文芸」という講演をききました。俳句のルールや作る際のコツを教えてくださいました。とてもわかりやすいお話で、早速、俳句にチャレンジしてみたくくなりました。

③ 全体交流会

「ブログ探訪」「君の名は」というお題で創作しました。笑いを誘う内容が多く、とても盛り上がりました。

9日(日)

① 部門別研修会

散文、詩、短歌、俳句の四部門に分かれて活動しました。自分の作品のプレゼンをしたり、事前提出作品の鑑賞をおこなったりしました。

② 研修報告会

各部門での研修成果を発表しました。創作活動は孤独な作業なので、このような交流会はとても楽しく、様々な気づき、刺激があったようです。

来年度、「文芸道場」は、石川県で開催されます。今回の研修で学んだことを活かし、来年も充実した研修になるように準備していきたいと思ひます。



弥彦神社



弥彦神社参道



開会式
(9月10日 顧問)